

平成 2 2 年千葉市教育委員会会議  
第 5 回定例会会議録

千葉市教育委員会

平成22年千葉市教育委員会会議第5回定例会会議録

日時 平成22年5月19日(水)

午後2時00分開会

午後3時00分閉会

場所 教 育 委 員 会 室

出席委員 委 員 長 津田 英彦  
 委 員 岩沼 静枝  
 委 員 内山 英夫  
 委 員 梅谷 忠勇  
 委 員 和田 麻理  
 教 育 長 志村 修

出席職員 教 育 次 長 武田 昇 指 導 課 長 小寺 道明  
 教 育 総 務 部 長 西田 典夫 保 健 体 育 課 長 井谷 芳明  
 学 校 教 育 部 長 時田 猛 教 育 セ ン タ ー 所 長 山 下 正 敏  
 生 涯 学 習 部 長 宇留間 正 養 護 教 育 セ ン タ ー 所 長 奥 村 兼 弘  
 総 務 課 長 森島 俊之 生 涯 学 習 振 興 課 長 松 戸 利 一  
 企 画 課 長 高須 右一 社 会 体 育 課 長 成 毛 博 光  
 学 校 財 務 課 長 伊藤 太一 中 央 図 書 館 長 鹿 間 陸 郎  
 学 校 施 設 課 長 初芝 勤 総 務 課 総 括 主 幹 大 崎 賢 一  
 学 事 課 長 芝崎 易生 学 事 課 調 整 主 幹 湯 浅 忍  
 教 職 員 課 長 三野宮 純一 生 涯 学 習 振 興 課 主 幹 古 川 和 明

書 記 総 務 課 長 補 佐 南 久志 総 務 課 人 事 係 長 中 尾 嘉 之  
 総 務 課 委 員 会 係 長 小 池 正 彰 総 務 課 主 査 補 諏 訪 瑞 穂  
 総 務 課 総 務 係 長 小 柳 寛 総 務 課 主 任 主 事 藤 井 拓 也  
 総 務 課 経 理 係 長 市 川 康 次

- 1 開会  
津田委員長より開会を宣言
- 2 会議の成立  
全委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名  
津田委員長より梅谷委員を指名
- 4 会期の決定  
平成22年5月19日（1日間）ということで全委員異議なく決定
- 5 議事日程の決定  
議事日程を全委員異議なく決定
- 6 会議録の承認  
平成22年第3回定例会会議録を全委員異議なく承認
- 7 議事の概要
  - (1) 非公開事項の決定  
議案第24号から議案第27号までを非公開審議とする旨決定
  - (2) 報告事項  
報告事項(1) 千葉県学校教育推進計画の進捗状況点検・評価について  
企画課長より報告があった。  
報告事項(2) 千葉県科学館利用者100万人達成について  
生涯学習振興課長より報告があった。  
報告事項(3) 大型連休における千葉市中央図書館・生涯学習センター及び千葉市科学館の利用状況について  
生涯学習振興課長より報告があった。  
報告事項(4) 大型連休における千葉アイススケート場及び千葉市民ゴルフ場の利用状況について  
社会体育課長より報告があった。
  - (3) 議決事項  
議案第24号 千葉市中心身障害児生徒就学指導委員会の委嘱及び任命について  
指導課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。  
議案第25号 千葉市公民館運営審議会委員の委嘱について  
生涯学習振興課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。  
議案第26号 児童文化センター運営審議会委員の委嘱について

生涯学習振興課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

議案第27号 千葉県青少年センター運営審議会委員の委嘱及び任命について  
生涯学習振興課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

#### (4) 発言の要旨

報告事項(1) 千葉県学校教育推進計画の進捗状況点検・評価について

津田委員長 企画課長、報告をお願いします。

企画課長 報告事項(1)「千葉県学校教育推進計画の進捗状況点検・評価について」、報告します。「進捗状況点検・評価」は、「基本施策」、「具体施策」、「アクションプラン」の3階層での評価を行います。「基本施策」については、「千葉市の目指すべき子どもの姿」である「夢と思いやりの心を持ち、チャレンジする子ども」の実現に向けて、施策、事業の両面からの総合的な評価を行うもので、今年度、評価会議を立ち上げ実施したいと考えています。「具体施策」については、施策レベルでの達成指標に基づいた評価を行います。「アクションプラン」は、事業レベルでの評価で、「A評価（特に成果が高い。）」、「B評価（計画通りの達成。）」、「C評価（未着手その他。）」の三段階での評価を行います。進捗状況の概要ですが、163のアクションプランのうち、A評価は21項目で全体の10%、B評価は172項目で85%、C評価は11項目で5%となっています。次に、達成指標84項目についての達成状況ですが、「平成21年度の目標値を上回った項目」は20件で全体の23%、「概ね目標を達成した項目」は56件で67%、「目標値を下回った項目」は8件で全体の10%でした。

和田委員 資料の中に、「目標値を下回った項目」についての記載が無いので説明してください。

企画課長 「目標値を下回った項目」とその理由ですが、主なものとしては、「学校図書館情報ネットワークシステムの整備推進」は、整備が平成22年度に先送りとなったため。「放課後子ども教室の推進」は、インフルエンザの流行があり、開催回数が減少したため。「地域スポーツ人材の活用実践への支援」は、周知不足から派遣予定人数の1/2程度の希望であったため。「特別支援学級等の教室改修及び備品整備」は、教室改修が平成22年度に先送りになったため。「市立高等学校改革に係る評価・検証」は、事業スタートが22年度であり、21年度は検討期間であったため

等です。

和田委員 次年度の点検・評価では、「目標値を下回った項目」についても、その理由の説明とともに記載するようにしてください。達成指標の設定についてですが、児童生徒へのアンケート結果等を指標として設定している項目が見受けられますが、これは主観的な情報を基にした評価となる懸念がありますので、より客観的な評価ができるような達成指標の設定が必要ではないでしょうか。また、施設整備事業や耐震補強事業等、数が増えることが「成果」として評価できる事業がある一方、「研修に参加した教員数が増えた。」「研究発表を行う教員の数が増えた。」等、数が増えたことが即ち本来的な意味での「成果」であるとは言えない事業もあると思いますので、そういったことにも留意して評価・検証を行ってください。

企画課長 できるだけ「成果」を指標化するように努めていきます。

津田委員長 我々のように現場に携わっていない者が見てもわかりやすい記載を心掛けてください。

梅谷委員 「フレンドリーチューター」派遣校数の推移と、平成22年度以降の見通しはどうなっていますか。「特別支援教育指導員」は8人でスタートして、現在は20人、前後期で40校程度に派遣されていると思います。現場では、更なる増員の要望を聞きますが、今後の計画について示してください。また、「高等特別支援学校」については、ニーズが非常に高いものと考えていますが、検討はどの程度まで進んでいるのでしょうか。

指導課長 「フレンドリーチューター」については、大学生を市内18校に2人ずつ、36人を配置していましたが、3年前からは30校60人に増員し、各行政区にバランスよく配置しています。今後は、「子どもの夢をはぐくむ学校サポート推進事業」に統合し、より多くの学校の要望に応えられるようにしたいと考えています。「高等特別支援学校」については、平成21年度より「特別支援教育推進会議」で、設置場所、課題の洗い出し等の検討を開始しています。また、同会議のワーキンググループには、特別支援学校の教員がメンバーとして入っています。学校教育推進計画では、平成27年度の設置を目指すこととしておりますので、今年度は県の状況を踏まえつつ、設置場所、教育内容、必要な教育環境等についての検討を進めていきます。

養護教育センター所長 「特別支援教育指導員」については、平成16年度に指導員8

人で配置を開始し、17年度には16人、20年度からは20人に増員して各学校へ支援を行っています。ADHD等対応が困難な児童生徒が増えていることから、増員等について検討を進めていきます。

岩 沼 委 員 「高等特別支援学校」は、平成27年度の設置を目指すのですが、しっかりと進めていかなければ、市の財政状況等から先送りにもなりかねないと思います。たとえ1年遅れるだけであっても、子どもにとってはその時に必要としていたケアが受けられないということであり、そのケアを必要として待っている子どもや保護者がいるということは、現場の状況や様々な調査等によって、すでにわかっていることだと思います。「平成27年度には絶対に設置する。」という気持ちで、そのためにはどうすれば良いかといったことを考え、実行して行ってください。

#### 報告事項(2) 千葉県科学館利用者100万人達成について

津田委員長 生涯学習振興課長、報告をお願いします。

生涯学習振興課長 報告事項(2)「千葉県科学館利用者100万人達成について」、報告します。千葉県科学館は、平成19年10月20日に開館しましたが、4月24日(土)に、累計利用者数が100万人に達しました。100万人目の利用者は、稲毛区在住のご家族です。科学館は、年間30万人程度の利用者があり、今年度下期に利用者100万人達成を見込んでいました。今後も指定管理者との調整を進め、より多くの方に利用いただけるような取り組みをしていきます。

津田委員長 開館式典の際、来賓の方から「開館3年後が勝負」とのアドバイ스가あったと記憶しています。今年で3年が経過しますので、一層の努力をお願いします。

#### 報告事項(3) 大型連休における千葉市中央図書館・生涯学習センター及び千葉市科学館の利用状況について

津田委員長 生涯学習振興課長、報告をお願いします。

生涯学習振興課長 報告事項(3)「大型連休における千葉市中央図書館・生涯学習センター及び千葉市科学館の利用状況について」、報告します。「千葉市中央図書館・生涯学習センター」は、利用者数が41,738人、前年度が44,656人で、2,918人減少しています。「科学館」は19,072人、前年度が28,825人と9,753人の減少となっています。今年のゴールデンウィークは例年になく好天に恵まれたことから、屋外施設に流れたことが

理由と考えていますが、今後もより多くの方に利用いただけるような取組みは必要であり、例えば、夏季休業中は主に小中学生を対象としたイベントを組み込むこと等を予定しています。

和田委員 年間を通しての土日や、他の連休等と比べた場合はどうでしょうか。

生涯学習部長 平成20年度のデータですが、平日平均が843人、土日祝日平均が1,884人となっています。

和田委員 ゴールデンウィーク中は、それ以外の土日祝日と比べてかなり多くの利用者があるようですが、特別な企画やイベントがあったのでしょうか。

生涯学習振興課長 科学館では、プラレールの企画展を開催していました。

和田委員 せっかくの素晴らしい施設なので、多くの方に利用いただけるよう新しい企画等を積極的に打ち出して行ってください。

報告事項(4) 大型連休における千葉アイススケート場及び千葉市民ゴルフ場の利用状況について

津田委員長 社会体育課長、報告をお願いします。

社会体育課長 報告事項(4)「大型連休における千葉アイススケート場及び千葉市民ゴルフ場の利用状況について」、報告します。両施設の4月29日から5月9日までの11日間における利用状況ですが、「アクアリンクちば」が7,271人、内訳はスケート場利用者が5,582人、温浴施設利用者が1,689人です。1日当たりの利用者数はスケート場が508人、温浴施設が153人、両施設合計で661人です。「市民ゴルフ場」は1,373人で、1日当たりの利用者数は124人でした。いずれの施設も、昨年とほぼ同程度の利用者数でした。今後も、子どもから高齢者まで幅広い方々にスケートやゴルフを楽しんでいただけるように努めてまいります。

議案第24号 千葉市心身障害児童生徒就学指導委員会の委嘱及び任命について

委員長 指導課長、説明をお願いします。

指導課長 議案第24号「千葉市心身障害児童生徒就学指導委員会の委嘱及び任命について」、説明します。委員の離任に伴い、千葉市心身障害児童生徒就学指導委員会条例第3条第2項の規定により、新たに委員を委嘱及び任命するものです。委嘱及び任命年月日は平成22年5月19日、委嘱期間は本日から平成23年5月19日までです。新たに委嘱及び任命するのは、「千葉市立あやめ台小学校長 成田昌子」他4人です。委員の所属及び役職名等

については、参考資料記載のとおりです。千葉市心身障害児童生徒就学指導委員会の概要ですが、目的は、千葉市教育委員会の諮問に応じ、心身障害児童生徒の就学についての判定及び就学指導に関し答申することです。委員数は20人、任期は2年で、委員の構成は、学識経験者、医師、教育職員、その他教育委員会が必要と認めた者です。主な活動内容ですが、平成21年度は、全体会を1回、部門別では、「知的、自閉症・情緒部門」、「言語・難聴部門」等6部門で述べ23回開催し、合計669件の諮問に関して審議しました。

議案第25号 千葉市公民館運営審議会委員の委嘱について

委員長 生涯学習振興課長、説明をお願いします。

生涯学習振興課長 議案第25号「千葉市公民館運営審議会委員の委嘱について」、説明します。任期満了に伴い、社会教育法第30条第1項の規定により、新たに委員を委嘱しようとするものです。委嘱年月日は平成22年6月1日、委嘱期間は平成22年6月1日から平成24年5月31日までです。審議会は、学校教育・社会教育関係者、学識経験者、家庭教育関係者から構成されており、そのうち、家庭教育関係者について、全区で公募委員を募集し、花見川区、稲毛区、美浜区で各1人ずつ委員として委嘱しました。なお、中央区、緑区では応募がなく、若葉区では応募はありましたが、選考の結果、採用に至りませんでした。審議会の主な活動状況ですが、年2回会議を開催しており、公民館における各種の事業の企画実施について調査審議をしています。

議案第26号 児童文化センター運営審議会委員の委嘱について

委員長 生涯学習振興課長、説明をお願いします。

生涯学習振興課長 議案第26号「児童文化センター運営審議会委員の委嘱について」、説明します。委員の離任に伴い、千葉市児童文化センター設置管理条例第11条の規定により、新たに委員を委嘱しようとするもので、委嘱する委員は、「蘇我小学校長 藤田雅臣」です。同審議会は、教育委員会の諮問に応じ、児童文化センターの運営について審議答申することを目的として設置されています。

議案第27号 千葉市青少年センター運営審議会委員の委嘱及び任命について

委員長 生涯学習振興課長、説明をお願いします。

生涯学習振興課長 議案第27号「千葉市青少年センター運営審議会委員の委嘱及び任命について」、説明します。委員の離任に伴い、千葉市青少年センター運営審議会規則第3条第1項の規定により、新たに委

員を委嘱及び任命しようとするものです。委嘱及び任命する委員は、畑野和廣他4名。委嘱及び任命年月日は平成22年5月19日、委嘱及び任命期間は平成22年5月19日から平成23年1月30日までです。同審議会は、教育委員会の諮問に応じ、青少年センターの管理及び運営について審議答申することを目的として設置されています。

## 8 その他

- (1) 第62回全国都市教育長協議会定期総会・研究大会について、志村教育長より報告があった。

志村教育長 5月13、14日に、「第62回全国都市教育長協議会定期総会・研究大会」へ出席しました。総会、記念講演に続き、「教育行財政」、「学校教育」、「生涯学習」の3部会に分かれて、教育研究部会が開催されました。私は、「教育行財政」の部会に出席しましたが、文部科学省担当官からは、現在40人の学級編制について見直しを行っていること、及びそれに合わせた教員定数増の方策についても検討している等の説明がありました。また、出席した都市による事例発表では、小中連携の取組みについての説明がありました。小中学校それぞれ数校程度の規模の都市で、学校規模を維持するための小中一貫教育といった側面もあるように見受けられ、本市で考えている小中一貫教育とは、多少性格が異なるようでしたが、実例に基づく様々な情報を得ることができました。

- (2) 小学校英語活動について、岩沼委員より質問があった。これに関連し、次のとおり質疑応答等があった。

岩 沼 委 員 小学校での英語活動は、外国人講師とのコミュニケーション等、楽しく英語に親しむとの姿勢で行われるものの、中学校に上がり、教科としての英語が始まると、読むことから入るため、そのギャップにショックを受ける生徒がいるとの話を聞きましたが、実態はどうなのでしょう。

指 導 課 長 現在、小学校5、6年生で年間35時間の英語活動を行っていますが、中学校とのギャップで英語が嫌いになってしまうことのないように、中学校の教員が小学校の英語活動の様子を見学する、小中学校の教員がお互いの活動や授業の様子について報告し、子どもたちの様子を連絡しあう等の取組みを行っています。なかなか万全とは言えませんが、とにかく中学校進学後、最初の数時間で「英語はもういやだ」とならないよう、様々な角度から支援、

工夫を行っております。

志村教育長 本市の英語活動は、国際理解教育の一環として始めたものですが、文部科学省では、言語指導としての英語教育へシフトしている傾向があるように思います。そのため、更に低学年のうちから英語教育を行おうとする自治体もあるようですが、本市としては、小学校の段階では国際理解教育の一環として進めることが大事であり、言語指導に偏ってはいけないと考えています。特に本市の場合、幕張メッセや成田空港等、国際性の高い施設が身近にある特性を生かし、外国の方との交流のきっかけとすることや、コミュニケーションの質の向上のために、小学校英語活動に取り組んでいきたいと思っております。また、平成23年度からの新学習指導要領での「英語活動」の進め方について注視していきます。

(3) 新学期を迎えた学校の様子について、内山委員より質問があった。これに関連し、次のとおり質疑応答等があった。

内山委員 新学期が始まり1ヶ月半経過しましたが、学校運営は順調でしょうか。特に新入生の様子はどうでしょうか。

指導課長 今週から学校への訪問を開始しました。今年度は小学校20校、中学校10校を訪問する予定です。訪問した学校では、新入生は学校生活に慣れ、授業を受ける態度についても学習習慣として定着してきたようです。また、問題が発生した場合も学校全体で解決に当たるなど、良好な学習環境の確保に努めています。

(4) 学校ホームページについて、和田委員より質問があった。これに関連し、次のとおり質疑応答等があった。

和田委員 学校のホームページの管理運営は、どのように行われているのでしょうか。

教育センター所長 基本的にそれぞれの学校で作成していますが、教育センターで作成状況について確認するとともに、ホームページの作成・更新等に関する質問にも対応しています。

和田委員 その学校の様子がよく分かるホームページがある一方、写真が数枚と定型的な教育目標等だけのホームページもあり、学校によってホームページの充実度に差があるようです。子どもが、自分の通っている学校のホームページを見て楽しくなるようなことだけでも大きな意味があるのではないのでしょうか。教員への大きな負担にならない範囲内で充実を努めていただきたいと思います。

(5) 次回第6回定例会は、事務局において日程を調整の上、開催日時を決定する

こととした。

9 閉会

津田委員長より閉会を宣言